

《コロナ禍を乗り越え4年ぶりに開催》

第23回野田市民俗芸能のつどい

～市内各地域で継承されてきたお囃子や獅子舞など披露～

櫛のホール・小ホールで令和5年12月3日、野田市民俗芸能のつどいが開催される。コロナ禍により令和元年を最後に開催が中止されていたが、今年は4年ぶりの開催となる。主催は、野田市民俗芸能のつどい実行委員会（会長：宮本昌昭）。市内各地域に受け継がれているお囃子や神楽、獅子舞などが披露され、小・中学校の児童・生徒や地域の子どもたちの出演もある。市内の伝統芸能が集まる賑やかな舞台をぜひご覧いただきたい。

野田市民俗芸能のつどいは、地元の伝統的な芸能を広く紹介し後世に伝えることを目的に、平成10年に野田市民俗芸能連絡協議会と野田市教育委員会の共催で始まった。平成20年の第11回からは、野田市民俗芸能のつどい実行委員会が主催している。

毎年、出演団体を入れ替えながら開催し、今年は6つの民俗芸能保持団体と4つの小中学校が出演する予定。

当日は、各演目を紹介したプログラムが無料で配布される。地域の歴史や風土、人々の暮らしや信仰に深く根ざした民俗芸能の背景を知ること、より一層楽しんでいただけるものとなっている。

【日時】 令和5年12月3日（日）12時30分開場、13時開演、16時終演予定

【会場】 櫛のホール・小ホール（野田市中野台168-1）

【料金】 入場無料

【出演】 中里喜楽会、七光台お囃子保存会、中野台大杉ばやし、野田津久舞保存会、バツパカ獅子舞保存会、梅后流江戸芸かっぽれ梅さと道場、中央小学校郷土芸能クラブ、宮崎小学校おはやしクラブ、清水台小学校郷土芸能部、川間中学校特設郷土芸能部

問合せ＝生涯学習課・直通 04-7199-8595

代表 04-7125-1111（内線 2651）

野 田 市